

実質化した人・農地プランの概要

西目屋村のホームページ <https://www.nishimeya.jp/shigoto/nougyou/post-19.html>

青森県西目屋村
村市・藤川・居森平
川原平・砂子瀬地区

山間
農業地域

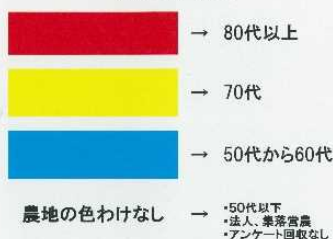
対象地区の状況

地区内の耕地面積	78.3ha
80歳以上の農業者の耕作面積	4.5ha
うち後継者未定	2.0ha
うち後継者不明	1.7ha
中心経営体	5経営体
現状の経営面積	18.9ha
今後の経営面積	19.2ha
今後の引受意向（拡大分）	0.3ha

年齢分布図面

地図の見方

農地の色分け



農地の囲み線



対象地の課題

約6割の農家が60代以上で高齢化が進んでおり、若年農家の掘り起こしや、後継者の育成が必要。

農道や排水溝等の整備が不十分で、小規模で不整形な農地が多いため、作業効率が悪い。

一部の集落では、過去5年間で樹園地の廃園面積が約2haとなり、今後も廃園が予想される。

将来方針

水田及び畑地では、統合した『農事組合法人にしめや』へ中間管理事業等を活用した利用権設定への切替、高収益作物の面積拡大を進めるとともに、野菜を作付けしている中心経営体のうち、作付拡大意向のある農家に対して、農地貸付を促す。

樹園地では、品種や樹齢などの条件が多様であるため、中心経営体に対する引受意向の確認等を行う。また、農地中間管理事業を通じて新たな担い手の確保につなげる。

将来方針を実現するための取組方針

統合した農事組合法人を中心に、国庫事業を活用した農業機械の導入や新たな担い手の確保・育成に向けた取組を進めるほか、農家との合意形成を図りながら農地の基盤整備の推進を図る。

樹園地では、品種構成の見直しや改植事業等の活用による生産性向上を図りながら、統合した農事組合法人における受入態勢の整備なども関係農家・団体と協議・検討する。